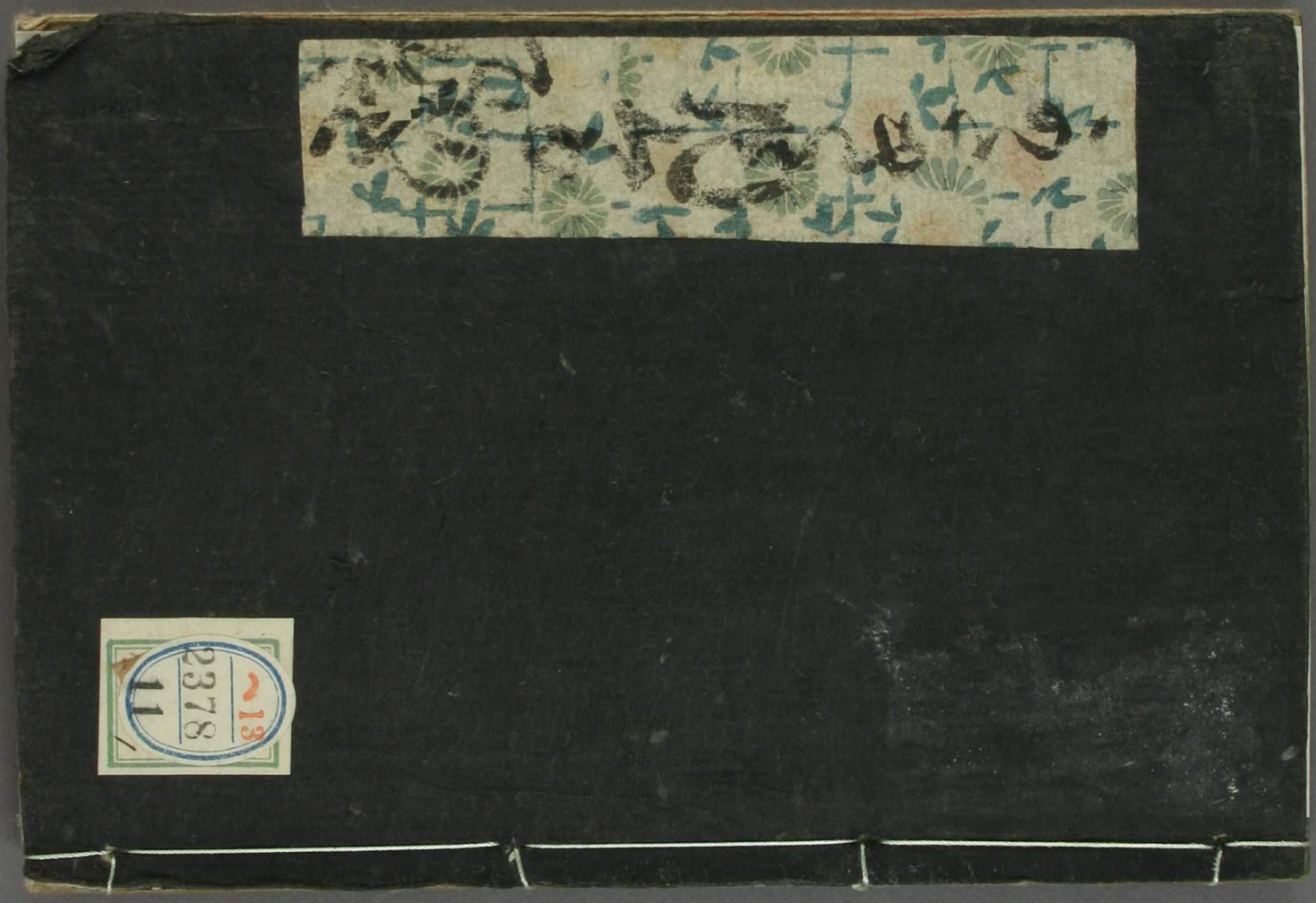


13
2378
11

瀧澤篁民著

迎福南鐵録

一名相宅手引草
全部五冊 近刻

[illegible]

右同著

雅俗百傳奇

大本全五冊繪入
平假名附 近刻

[illegible]

女消息往来

西入 全一冊

[illegible]

暦日講釋

全一冊

[illegible]

狂歌早割麁劫記

全一冊

[illegible]

劍卜子先生著

御家正流 大全書状案文 全一冊

消息往来詳註 高井蘭山述 全一冊

隅田川両岸覧北斎筆 袋入 絵本 全三冊

江戸名所東鑑 蕙齋筆 同 全三冊

江戸名所物見丘清長筆 同 全三冊

合則 壽福三世相大鑑 全一冊

東海道五十三次 花の都路 緒大人 狂歌入 同 全三冊

拳獨甚吉 中本 袋入 山櫻連々作 逸軒橋丹作

戯場頭微鏡 黙多漁隠作 同 上帙 下帙 二冊

右五通り共拙上品にして高雅に仕立 洗進物抜出し極写委敷 江戸みや

教直草消息往来 此必ハ文字正真草二體ハ書分ル書往 全一冊

上の巻

復讐曲輪廻文字

濡髪放駒全傳

前編五冊 發兌

山東京傳作 甲午再刻

歌川國芳画 甘泉堂梓

復讐曲輪達引

山東京傳作
一勇齋國芳画

前編上之巻

天保五甲午春發市

前編上之巻

弁慶
関寿丸

甘泉堂

遠13
2378
14

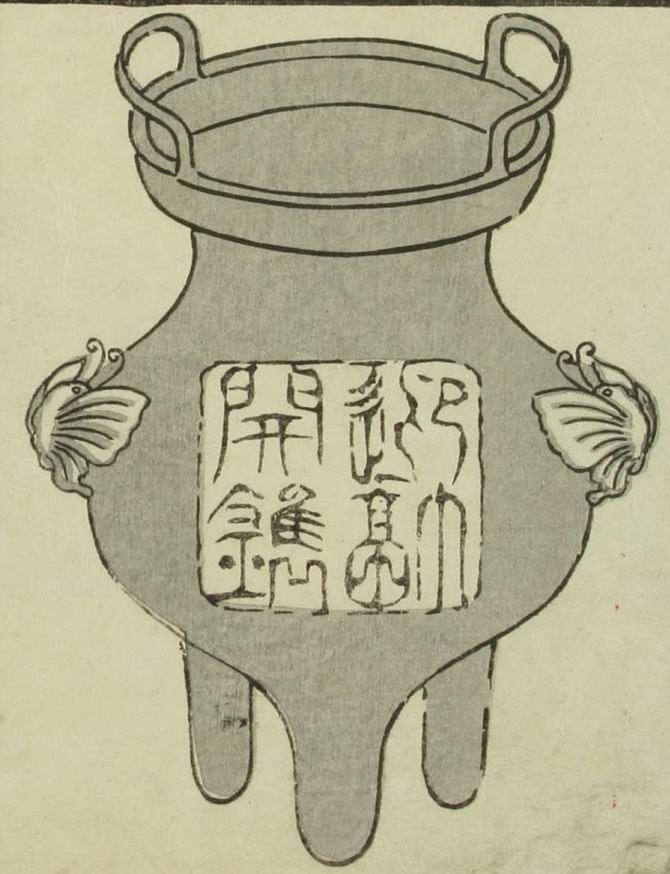
曲輪達引

京傳作

天保五甲午春再彫

國芳画

芝神明前和泉屋市兵衛版



復讐曲輪達引序

（江戸芝神明前　和泉屋市兵衛刊行）

康安貞治の頃とや。吾妻うけだち山岩奇与次兵衛とぐ。或ハ八幡山岩南与兵衛のおだて。我子かいもう金とだせきとうたゝ傳へ〳〵ヒヨ挽歌もめづらくて遠き昔とゐアーそのゆゑをたづねて寛延の頃竹田出雲が作りたる。浄瑠理節を種として。菜の花の黄表紙とゐもといへども。都是寓言ゐして荘子がたとへの二ッ蝶人ゐ折る。牆のもとの。花ゐ四どアそくさぐて死。吾妻が顔も見忘れる。鴛鴦篭の塵兵衛が。親子再会のむりがゑ。蝶い菜種の阿字十方。菜種い蝶の三世仏迷へば暗。悟ば月。三世因果を引肉のあけたてゐ迷悟をつゝ。十字兵衛が母の。詞義話戒が集めく。春雨の柳。濡髪ゐつゑどめたる放駒俄然として覚則遽々然として蝶々の。梦の浮世戯暁ゑん。ゐとめのゐら。畢竟筆のまさゑゐアけり。

天保五甲午年正月發兌

山東京傳述

近江の國志賀の郡の
駕籠屋
塵兵衛
角力取
濡髪蝶五郎
両曹相對力角力
餘黨競誇強敵強
角力取ろくぶや
秋のやつ錦

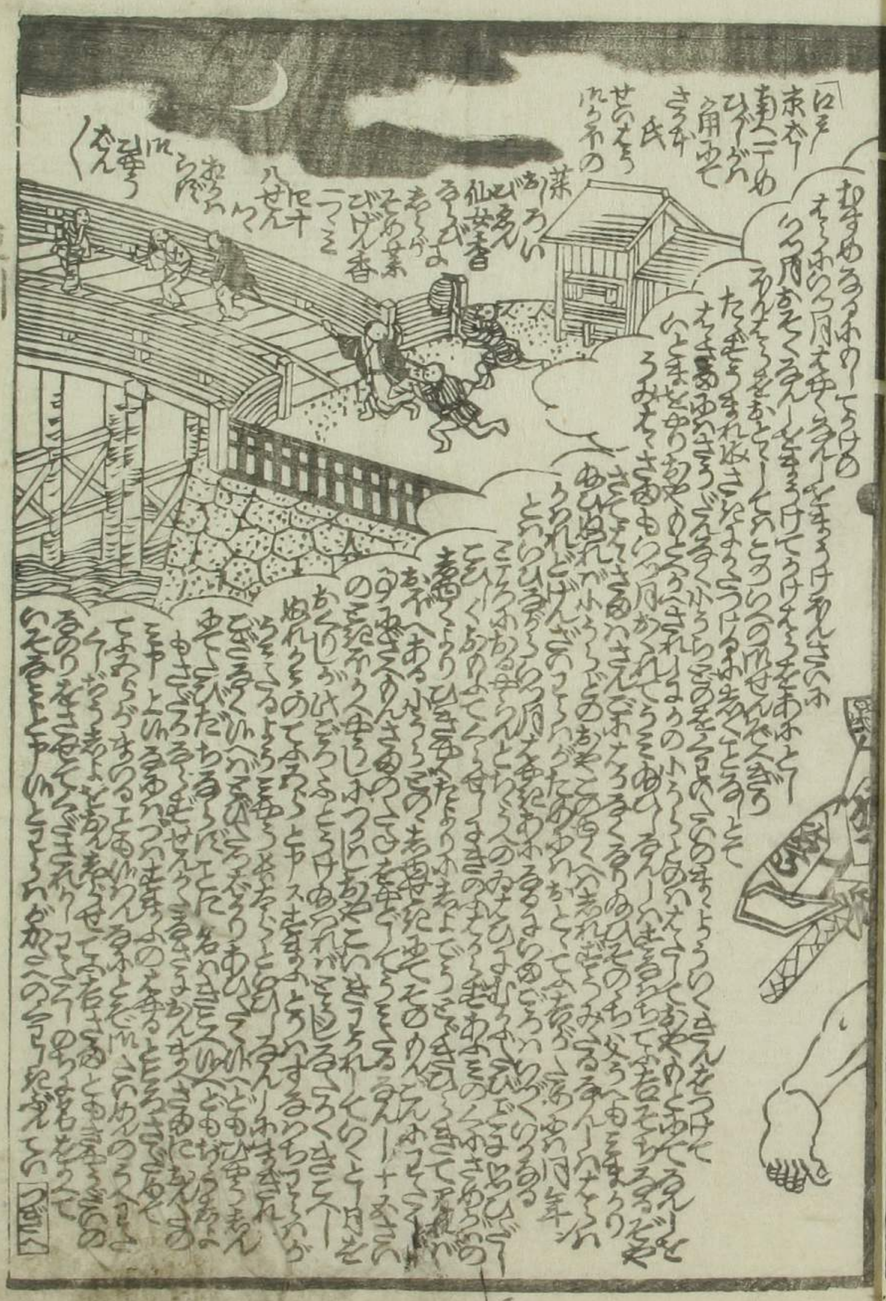
百とせを花のやどりすぐしたる
へ
蝶の夢
ゆめありける
富士名左エ
山崎与五郎
梁帝園中
偏得意
莊周夢裏
本无心
提刀
神崎の傾城
吾妻

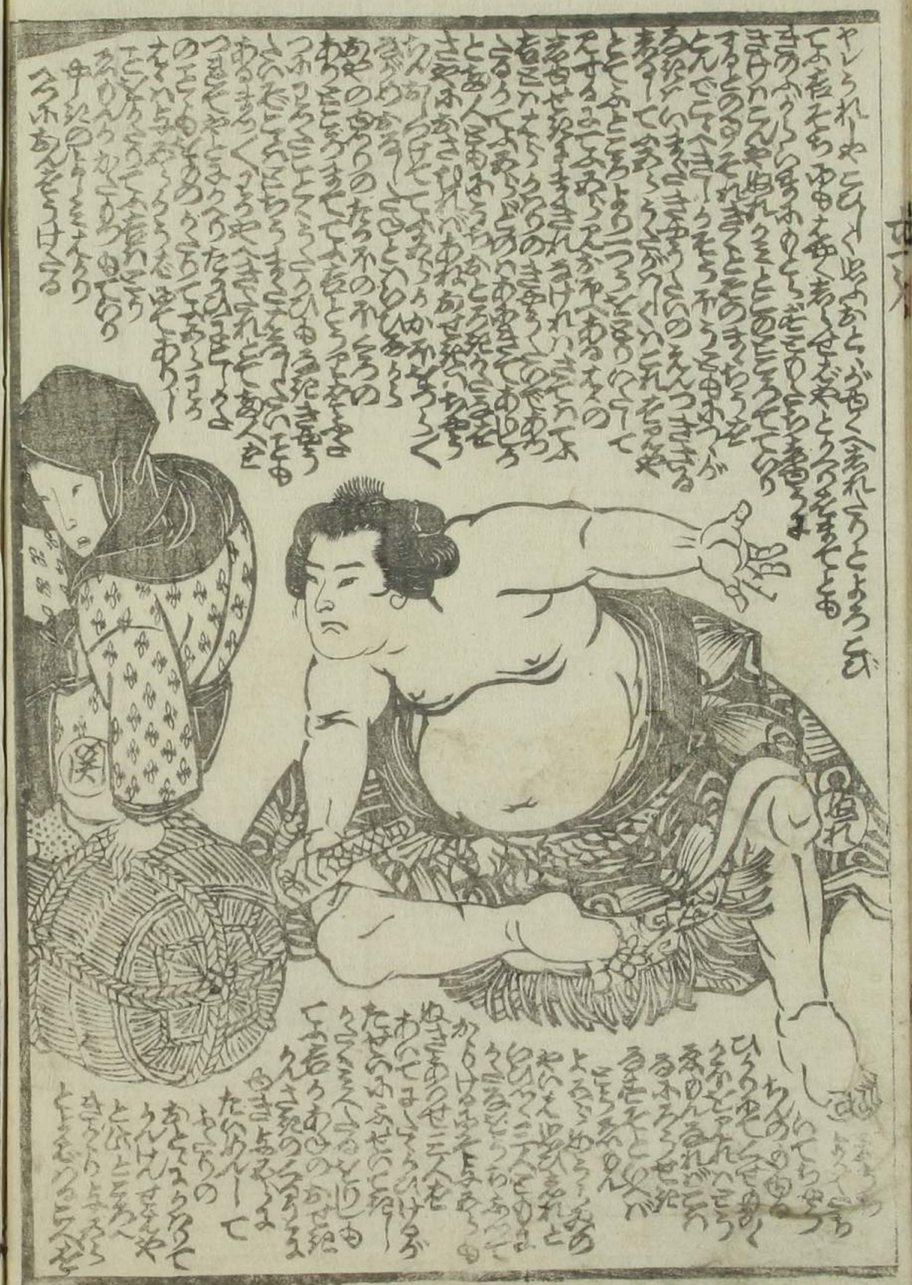
浪花嶋の内の
来屋お関
元吉原蝶吉ぶきち
好之

荆樹有花兄弟楽
橘林无実子孫忙
侠客放駒蝶吉

堂
寺

高酒や





竹
与
富田

つぎへ

すぐさまあつ
そがづらひの
ものわも
さてをを
せたあ
ちこ
つぎへ

京傳作
四芳画

「あづまをとうぞひいごをさろうどこれろうく
る。ぐうそんろうるぬるる

「ふさの
うーとまろうまーと
十ぶんまあうせく
おあようけませろ

「あづまとりの
せーやぶ女
ぞうふるる
とーとろの
いとをを
ナーヒきを

雨
柿
松

○藏板繪本目錄 東都芝神明前三島町 和泉屋市兵衛

画本根元石橋山 袋入三冊 北尾政美筆

全源平軍物語 同 同 筆

全武勇一の華 袋入二冊 北尾政美画

全武智代衣 同 北尾圖 溪齋英泉寫

全渡邊一代記 同 勝川春亭画

全勇見代衣 同 右同断

全大塔宮御一代記 同 北尾政美画

常盤百人一首 中本一冊

全袈裟錦勇見鑑 同 同 画

麗玉百人一首 寸珍本 大全薄

全小栗一代記 同 同 画

小形豆百人一首 品々有之

全楠公一代記 前三冊 後同 歌川貞秀画

美艶仙女香 四色紙 京橋南二百角 美玄香 日乃 坂本氏製